

めあて

解説文を読み合い、感想を交流しよう。

◎ 解説文を読み合うときの視点

- ・ 絵のどんな部分に着目しているか。
- ・ どんな言葉を用いて評価しているか。
- ・ どんな表現の工夫をしているか。
- ・ どういう書き方で書きだしを工夫しているか。

共通点

そうい点

【9 / 9 時間目 指導略案】 使用するワークシート「鳥獣戯画」を読む⑦
本時のねらい

解説文を読み合わせ、絵の見方や絵についての考え方を交流させる。

1 前時の学習を振り返り、本時のめあてを確認する。

- 筆者の絵の見方、評価の仕方、表現や構成の工夫を確認させる。
- 自分の解説文の読み直しをさせる。

2 解説文を読んで感想を交流する。

- 同じ名画を選んだ児童同士をグループにし、解説文を読んで感想を交流させる。
 - 読んで気付いたことを付箋に書かせ、友達の解説文に貼らせる。
 - グループで交流した後、全体で交流する時間を設ける。
- ※ 交流するときには次のような観点を示すと、話し合いをスムーズに進めることができます。

- ・ 絵のどんな部分に着目しているか。
- ・ どんな言葉で評価しているか。
- ・ どんな表現の工夫をしているか。
- ・ どういう書き方で書きだしを工夫しているか。

3 グループ以外の友達と解説文を読み合い、感想を交流する。

- 別の絵を選んだ児童と交流させることでさらに見方や表現の違いを実感させる。

4 交流しての気づきをまとめる。

- 友達の絵の見方や表現の工夫で気付いたことを書かせるようにする。

評価 解説文の書き表し方や内容を進んで伝え合おうとしている。

(関)

5 単元の振り返りをする。

- 単元としての学習の振り返りをワークシートに記入させ、学習のまとめとする。